

3R地区会則・会員・情報・エクステンション委員 渡邊 学



今年度は昨年度に続き新型コロナの影響で様々な事業がキャンセルになりました。その中で、唯一委員会主催で行われたのが新会員研修会です。JR博多シティーの会議室で行われましたが、参加者が多く密な状態での研修会でした。新会員の方々は少しでもライオンズクラブを知って頂けたのではないかと思います。21年4月、5月に行われる予定でした次世代リーダーシップセミナー、第2回新会員研修会等が3回目の緊急事態宣言の影響でキャンセルとなり、今年度の委員会活動は欲求不満で終わりそうです。

3R地区青少年育成・レオ委員 永松 竜



今年度、初めて地区委員として出向させていただきました。青少年育成・レオ委員会ということで、主にレオ活動を企画、サポートする委員会でした。レオクラブは、直方はもちろん3R内にもないのであまり身近に感じていませんでしたが、現在地区内に10クラブ(内3クラブは休会中)約100名が在籍しています。ほとんどの方は年次大会での募金活動をしている印象くらいだと思います。僕も以前はそうでしたが、実際は各地域でのそれぞれの活動をはじめ

キャビネット主催の事業もたくさんあり、こんなに色々なことをしているんだと改めて思いました。今期は残念ながらコロナの影響で多くの事業ができませんでしたが、そんな中でも秋季研修会を企画・準備し、開催できたことはとてもいい勉強になりました。ただ今回は不完全燃焼だったので、また機会があればいいかな?と思っています(今は)。また地区に出向することでキャビネットに対しても、また少し違った角度から見る事ができ、そういった意味でもいい経験になったと思います。



2021 MAY No. 618

直方ライオンズクラブ 会報「年輪」

SHINKA LIONS CLUB 337-A地区 3R-1Z

現在 過去 未来

2020-2021

未来へ繋がる We serve

4月第二例会 ゲスト卓話

「不確実な世界を生き抜くためには？」を拝聴して
第五委員会 森 勇馬



単なるデジタル化ではなくデータを基に事業を変革させるからこそ意味がある

4月第二例会では、原田裕一様(九州大学グローバルイノベーションセンター長・教授)に「不確実な世界を生き抜くためには？」と題して卓話を頂戴しました。

まずは、スウェーデンの大学に自分を売り込む、NTTに入社してオックスフォード大学内にNTTの研究所を設立するなど、原田様の規格外の経歴、端々で出てくる幅広い人脈(イーロン・マスク氏や本田宗一郎氏など)に驚かされました。また、量子コンピュータに関する研究をなされていたこと、手掛けている事業の専門性に圧倒されました。

しかし、難解な専門用語がある中、話を聞いてみると、原田様がボイスカウトに長年所属し、そこで育んだ「あるものを使っていかに生き残るか」というシンプルな精神が、柔軟な考え、革新的な事業に繋がっているのだとわかりました。「学園祭で500円を元手にいかに利益を上げるか」と問われれば、固定観念に縛られた私は「500円じゃ何もできません。もっと予算をください。」と答えるところでした。これに対して柔軟な高校生ならば、「500円でチラシを作って家庭教師として自分を保護者に売り込む」と考えるそうです。頓智のような、なるほどと思える話です。

今話題の「DX」も単なるデジタル化ではなく、データを基に事業を変革させるからこそ意味があるということを感じていただきました。

凝り固まってしまった私の固定観念を少し柔らかくしていただきました。ありがとうございます。個人的には、海外留学のくだりで「語学はある程度ブロックンでも大丈夫、要は魂のある話ができるかどうか」という趣旨の話

聞いて、なるほどなるほどと感心し、さっそく語学の勉強をしている妻に教えました。

グローバルイノベーションセンターは、2021年2月直方市と連携協定を締結しており、今後は直方市が抱える課題を解決するためオープンイノベーション(注1)の取り組みを進めることになっております。原田氏は直方市の教育についても関心を持っており、アントレプレナー(注2)の精神に基づく教育をしたいと考えておられます。今後の原田様の活躍が大変楽しみです。

KOINE

KOINE (Kyudai global Open Innovation Network Engine) とは、九州大学が提唱するオープンイノベーションに基づくアイデア創出の仕組みです。英単語 KOINE は、古代ギリシャ語由来の“共通言語、共通認識”を意味します。

注1 イノベーションを促進するため内部と外部との技術やアイデアの流動性を高め組織内で創出されたイノベーションをさらに組織外に展開するイノベーションモデル
注2 起業家

第67回地区年次大会

第二副会長 山口 光男



4月18日(日)北九州芸術劇場にて第67回地区年次大会が開催されました。私は今回第二分科会(GST(献眼・献血・献腎・糖尿病教育推進)・国際協調・LCIF・アラート・FWT)にL.飯野と参加しました。分科会ではFWT委員会になぜ今期よりヘアードネーションの基準が厳しくなったのか(31cm以上の黒髪だけなど)質問等がありました。その答えとしてカラーヘア脱色加工の作業は行うけど、小児がんの子供さんには皮膚への炎症の事例が多くあったそうです。ヘアードネーションの難しさを感じて帰ってきました。



新店舗オープン - ピザ&パスタ マリア



本年度ライオンテーマであるL.佐々木が、新事業の飲食店をエクセレントガーデン内にオープンしました。本格石釜で焼くピザやパスタが味わえます。テイクアウトもできますのでご自宅での昼食や夕食にもぜひご利用ください!!



■ピザ&パスタ マリア
営業時間 11時～
オーダーストップ 19:00
直方市頓野 4069-9
エクセレントガーデン内
TEL.0949-26-8818

編集後記 無事に年6回の年輪を発行することができました。会員の皆さんに直方ライオンズクラブのリアルな活動を見やすく、分かりやすくお伝えできないかと試行錯誤で作成して参りました。記事依頼の際に嫌な顔ひとつせず快く引受て頂いた方々にお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。 第三委員会

会長 清水 正嗣



会長に就任させて頂いて10ヶ月が経ちました。昨年の7月コロナ禍でのスタート、しかも7月第一例会は九州地区を襲った豪雨災害真っ只中の例会、まさに波乱の幕開けでした。コロナ禍ではありましたが、皆様のご協力で開催された各事業等、他クラブに比べても積極的に活動できたこと感謝いたします。しかし、コロナの勢いはとどまらず、1月、2月そして5月と緊急事態宣言の発令により例会や各事業が中止となりました。皆様という様々な事業を行い会員間で今まで以上に懇親を深めたかったのですが残念です。緊急事態宣言解除後、6月より通常通り例会等行う予定です。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。残りわずかではありますが、引き続きご協力お願い致します。

幹事 飯野 剛士



一年を振り返りまず幹事という経験をさせていただき本当に良かったです。ずっとコロナという壁がある一年ではありましたが、リスクも背負いながらも極力活動を止めずに、出来ることを考えて行った活動は意味があったと信じます。会長と直方ライオンズの良き仲間を支えていただきましたこと感謝申し上げます。

会計 篠田 雅孝



今年度はコロナで始まりコロナで終わった一年でした。会計というよりは清水会長と飯野幹事の補佐役に徹する!という大それた!?目標を持ち活動してきました。しかし、コロナ禍でクラブ運営はままならず、会長と幹事のストレスは溜まるばかりでした。想定外も想定内と捉えて頑張ろう!とスタートした一年でしたが世界的に猛威を振るった新型コロナウイルスには手の打ちようがありませんでした。それでも恐る恐る開催した例会には例年と変わらず出席された会員の皆様。そして、何かやれる事はないか!?と模索されて事業を決定された各委員長の皆様には心から感謝致します。ありがとうございました。願わくは来年度惜きコロナが終息し、直方クラブ65周年に向けてL.郡島丸が無事に航海を終えて欲しいものです。

第一委員会 山喜多 廣子



第一委員会の大きな役割は会員数の維持拡大にあります。今期目標は純増一名。このコロナ禍ではありましたが会員の皆さまのご協力でL.矢野、金子、山喜多洋志、横溝4名の素晴らしい新会員の皆さまの入会を得ることができました。反面やむをえない事情以外で長年在籍された方の退会もありました。退会されれば直方クラブで長年培われた人との交わりも失われてしまいます。かねて篠田ライオンが卒業制度について提唱されたことがあります。一定の条件の元卒業会員として在籍して頂く。周年行事やイベント例会時への参加等この制度導入が実現出来ればクラブにとっても大きな力になると考えます。今後の検討課題としてよろしくお願致します。一年間のご協力ありがとうございました。

第二委員会 有吉 慶祐

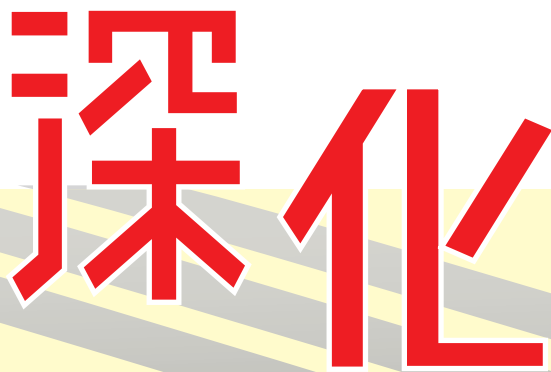


力不足でしたが委員長職を務めさせていただき、会員の皆様や卓話講師の先生方、会場等でご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。第二委員会の皆様には、焼きそばやお団子づくり、会場設営や懇親会の司会や運営などなど、いろんな場面で大変なご協力をいただき感謝に堪えません。誠にありがとうございました!

第三委員会 中山 健



新型コロナウイルス襲来の中、2ヶ月に1回の年輪発行、HP作成は大丈夫かなと心配しましたが、緊急事態宣言もあり事業が少ない中でしたが、何とか無事に終えることが出来たのではないかと思います。森本副委員長のサポートや記事を書いてくださったメンバーのおかげだと思います。第三委員会へのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



未来へ繋がる We serve

ライオンテーマー 佐々木 泰夫



今年度テーマーをさせていただきありがとうございました。お役に立てたかわかりませんが、私なりに精一杯努めさせていただきました。当初は、まったくわからない中、篠田ライオンはじめ諸先輩方にご指導いただきスタートすることが出来ました。誠に感謝申し上げます。やっと慣れてきたところに今年度が終わろうとしています。コロナ禍で、例会中止もありましたが貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

テールツイスター 川口 克代



会合を盛り上げ、メンバーの親睦やコミュニケーションを引き出す役割を全く果たせず仕舞いでした。直方ライオンズクラブの一員として仲間にしていただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

副幹事 福田 隆幸



前期と同様に今期も新型コロナ禍により例会や事業が中止になったにもかかわらずほぼほとんどの例会や事業に参加することが出来ませんでした。副幹事とは名ばかりで、クラブの皆様にご迷惑をおかけしたことを猛省しています。また、副幹事の役割なども大まかではしか把握できずに終わってしまうのがとても残念です。こんな私にもう一度チャンスが巡ってくるのであれば、再チャレンジしたいと思います。一年間、優しく見守っていただき有難うございました。

第四委員会 向野 正弘



新米委員長手探りの一年でした。屋外の活動が多く積極的な方針で臨みました。ライオンズデーやチューリップの球根植え、芳寿園、鞍手乳児院への支援活動等、会員各位の積極的な協力を賜り大過なく終えることができましたこと、感謝申し上げます。改めて振り返りますと、コロナ禍に対する考えが甘かったと反省しています。次年度に行かしていきたいと考えています。

第五委員会 松村 英樹



始まる前からわかっていただけなかったことである。今年は何もできない。それでも戦ってみた。抗ってみた。負けるってわかっていても人は戦わねばならない時があるのだ。病欠した副委員長にすまないと思わせたくなかった。今年は何もしない委員会だと言わせないために必要以上に真面目なふりをした。できないことで委員会メンバーを落胆させたくない。そんな僕を支えてくれたのが委員会メン

バーであった。感謝なんて安っぽい言葉じゃ表せない。この素晴らしいメンバーに囲まれたことを誇りにこれからも邁進していく所存だ。

